【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成22年7月1日(2010.7.1)

【公開番号】特開2008-288775(P2008-288775A)
【公開日】平成20年11月27日(2008.11.27)
【年通号数】公開・登録公報2008-047
【出願番号】特願2007-130470(P2007-130470)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　7/18　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　7/173　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　7/18　Ｆ
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ｃ
Ｈ０４Ｎ　7/173　６１０Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成22年5月13日(2010.5.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
視野範囲内を撮像して画像データを送信する複数のカメラと、ネットワーク網を介して上記複数のカメラから送信される上記画像データを蓄積し要求のあったクライアント端末に送信する第１のサーバとを備えたＣＣＴＶ（Closed Circuit Tele Vision）システムにおいて、
上記複数のカメラについての情報を記憶する第２のサーバを有し、
上記第１のサーバは、上記クライアント端末が送信したキーワードに基づいて上記第２のサーバの上記情報を参照して上記複数のカメラのうちから１台を特定し、上記特定したカメラが送信する画像データを上記キーワードを送信したクライアント端末に送信することを特徴とするＣＣＴＶシステム。
【請求項２】
請求項１に記載のＣＣＴＶシステムにおいて、
上記キーワードを送信したクライアント端末は、上記送信したキーワードに対応する情報を上記特定したカメラが送信する画像データとともに表示することを特徴とするＣＣＴＶシステム。
【請求項３】
請求項１乃至２に記載のＣＣＴＶシステムにおいて、
上記第１のサーバは、上記クライアント端末が送信したキーワードに基づいて上記第２のサーバの上記情報を参照した結果、上記複数のカメラのうちから１台に特定できなかった場合、
上記キーワードを送信したクライアント端末に、カメラを特定できない旨のメッセージおよびキーワードの再入力要求メッセージ並びに上記キーワードに近かったカメラの情報を該カメラの画像データに重畳して送信することを特徴とするＣＣＴＶシステム。